

株式会社 mimoto

【所在地】〒781-0270 高知県高知市長浜5984-2
【TEL】088-837-2323 【FAX】088-848-0345
【E-mail】info@hito-hira.jp
【URL】https://package-mimoto.co.jp
【設立】1991年(平成3年)3月5日 ※創業1983年(昭和58年)
【従業員】25名 【資本金】1,000万円
【主たる業種】繊維工業



代表取締役社長 味本 隆

企業概要 綿ウェットタオルの生産が主体。航空会社、ブライダル会社、ホテル、高級車ディーラーなど多くの企業に採用されている。

対象類型: **ものづくり技術**

事業類型: **一般型** 設備投資のみ

抗ウィルス・抗菌・防臭効果を有したVB綿ウェットタオルの生産体制強化

事業計画概要

事業提携先であるVBジャパンテクノロジー(株)が開発した、ノロウィルス等を99.9%以上活動抑制させることが可能な新薬液VBを活用したウェットタオル(おしぼり)の製造ラインを増設し、生産体制を強化する。

事業取組みの経緯

当社は1983(昭和58)年、包装資材の卸業として開業。2008(平成20)年に、自社に布ウェットタオルの生産ラインを構築し、当時国内唯一となる綿ウェットタオル生産工場となった。現在、当社の綿ウェットタオルは全日空(ANA)、ベストブライダルなど大手企業をはじめ、多くの企業に採用されている。



本商品は、ウィルス対策の薬液を付加することで、食事を提供する企業の衛生に関するリスク軽減や、顧客に安心感とプレミアム感を付与するなど、国内外の幅広いニーズに応えることができる。また、ウィルス抑制対策を行った紙おしぼりやレンタルおしぼりを製造販売する企業は存在するが、それらでは対応しにくい高級路線(ANAプレミアムクラス、結婚式場用、飲食店や車ディーラーなど)に、当社は参入している。他製品と差別化するため、長年「大切なひととき」に使われるものとしてのブランディングを進めてきたが、その付加価値のベースとなるのは、徹底した衛生管理のなかで人の手作業にこだわった生産工程にあると考えている。

まずは綿タオルを洗濯・乾燥した後、人の手・目による検品を行い、ウィルス等の活動抑制効果のある薬液を含浸する。その後、再び人の手と目で検品を行い、1枚1枚手作業でいねいに折りたたむ。機械でパッケージを行った後、金属探知機を経て、最後は三度、人の目視でパッケージの検品を行い、出荷となる。

この他社が真似することが難しい工程によって高い品質を生み出すことができ、実際に使われた方から注文の問い合わせが増加。特に、OEMのオリジナル商品の注文が多くなっている。

しかし、これまでは生産ラインが1つしかないため受注数を増やすことができず、新規や大口の注文を断らざるを得ない状況が続いていた。本事業で生産ライン一式の設備を導入し、2ライン化することで生産体制を強化し、新規や大口の注文に対応したい。また、生産ラインが増えることで新規雇用も可能となる。当社の製品の付加価値は「人」にあるからこそ、販路拡大によって従業員の雇用環境もより良くなってほしい。

実施内容

- ①金検付オートチェッカー(1台)
- ②包装機コンベアサイド作業テーブルユニット(1台)
- ③おしぼり包装用包装機(1式)
- ④全自動水洗機(1台)
- ⑤全自動洗濯機配管装置(1式)
- ⑥包装機・全自動洗濯機動力電源装置(1式)



▲全自動水洗機

全自動により専らタオルを洗濯するために使用。



▲金検付オートチェッカー

梱包後のウェットタオルの重量選別及び金属混入を防ぐために使用。



▲おしぼり包装用包装機

ウェットタオルを自動梱包するために使用。



▲包装機コンベアサイド作業テーブルユニット

タオル検品後の加工作業台として使用。

●全自動洗濯機配管装置

全自動水洗機の給排水を行うために使用。

●包装機・全自動洗濯機動力電源装置

包装機及び全自動水洗機に電気を供給するために使用。

以上の設備導入により生産ラインがひとつ増え、2ラインで稼働できるようになった。

事業取組みの成果

設備が導入されて生産ラインが強化されたことにより、これまで月産32万枚が限界であったが、月産50万枚まで可能とする生産体制が構築でき、納期についても短縮できるようになった。既存の契約先から要望があった増産にも対応することができ、繁忙期には断っていた10万枚以上の発注についても引き受けることが可能となっている。受注増に対応するため、正社員が2名増え、パートも増員している。

また、生産ラインが増えたことによって、新たな事業展開や商品価値の向上にもつながっている。その1つが、長年取り組んできたブランディングの一環として発表した「hitohira(ひとひら)シリーズ」だ。新たな販路を拡大するため、大企業に限らず、例えば単独店舗でもデザイン性の高いパッケージや、ウィルス対策の薬液付など付加価値のあるウェットタオルを注文できるよう、新たな受注システムを構築した。

さらに、ウェットタオルにウィルス等の活動を抑制する効果をもたせるため、これまでは事業提携先が開発した薬液「VB」を使用していたが、生産ラインが増えたことから、より安定的に薬液を確保できるよう当社独自に新薬液「V-FREE」を開発した。他社に真似できない唯一無二の製品という強みがさらに高まっている。



製品内容

●hitohira(ひとひら)シリーズ

「一枚(ひとひら)の、おもてなし。」がコンセプトの、新品未使用・100%綿素材のウェットタオル。ウィルスや菌を拭き取り除去できる即効性に優れた新薬液「V-FREE」を含浸させたタイプや、好みのデザイン・タオルカラー・香りを選んで組み合わせることができるプレミアムオーダータイプなどがラインナップする。



▲非常用ウェットタオル



●hitohira(ひとひら)シリーズ専用サイト(https://hito-hira.jp)

今後の活動予定・販売計画

「hitohiraシリーズ」を軸に、国内外の新たな販路開拓を目指している。当社の製品は、人の手で折り、人の手で検品を行うことが付加価値の1つとなっているが、その価値観に共感してもらえる取引先を開拓することが重要だ。今後は年2回、展示会に参加するなどして、当社の製品の価値をいかに理解してもらえるかに注力していきたい。また、その付加価値を維持していくには、従業員の確保と労働環境をより良くしていくことが必要だ。受注が増加し続けていることから、早期に雇用を増やし、2交代制を実現したい。さらには、工場および倉庫棟の増設も視野に入れている。